

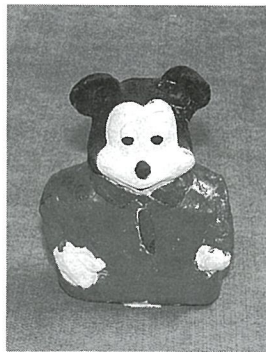


『あじさいと私』



4年 齋藤 智美さん

※あじさいの色を作るのが大変でした。少しずつ色を変えました。



『ミッキーマウスの貯金箱』



1年 越川いづみさん

※手をつけたり顔を作る所が難しかったです。



あつまれみんなの力作



5年 山崎ちさとさん

※工夫した所は葉の影の奥を濃くしたり、鉢の影が目立たないので黒くしました。



『はち植えの観葉植物』



2年 柳橋 君衣さん

※強そうに描けました。特にしっぽと目が気に入っています。



『ざりがに』

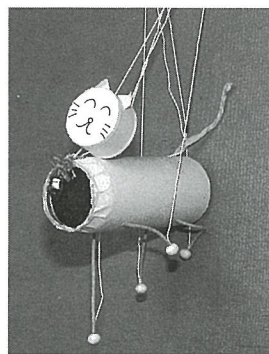


『バッター』



6年 伊東 健一くん

※手や足の太さや体のパフンさが難しく、何度もやり直しました。



『あやつりねこ』



3年 伊藤 梢江さん

※糸のつりあい難しかったです。あやつる所に色を塗り、猫の目も工夫しました。

かまきりを画紙一ぱいに写生の子  
画用紙いっぱい描かれたかまきり、低学年児の心理描写が中七に生きている。  
布施 和代(二又)

「短評」椎名しげる

蠅(あぶら)に我が家の所行のぞかるる  
網戸に終日張り付き動かないかまきり、気味悪さより、むしろ親近感を持った。  
越川せつ子(篠本三区)

塩利(しおき)がす焼きおにぎりや終戦日  
塩が何より貴重であることを知る人は少なくなった。上五に万感が籠められている。  
椎名 静子(二又)

蠅(あぶら)の貌(かた)かたむけて惚(とろ)けをり  
別名かまきり、鋭った三角頭、複眼の奇怪な顔の主が見せた一瞬の道化ぶり。  
秋山 一泉(栢田)

鬼舞(おにま)いの里を見下ろし秋の鳶(とび)  
仏教劇、鬼来迎を演ずる虫生の里を巡回する鳶。猛禽類と地獄絵図の対照が絶妙。  
土屋 義昭(虫生)

